

担当医/指導医		/	
目的		<input type="checkbox"/> 積極的治療	<input type="checkbox"/> 症状緩和
		<input type="checkbox"/> 術前補助	<input type="checkbox"/> 術後補助
告知程度		<input type="checkbox"/> 全告知 <input type="checkbox"/> 部分告知 <input type="checkbox"/> 未告知	
告知内容		<input type="checkbox"/> 癌(原発・再発・進行)	
		<input type="checkbox"/> 抗癌剤を使用する	
服薬指導		<input type="checkbox"/> 依頼する	
		看護師() 薬剤師()	
身長: \$HEIGHT01_Doc cm Kg	体重: \$WHEIGHT01_Doc Kg		
体表面積	\$BDY00401_DOC	m ²	HBV感染スクリーニング <input type="checkbox"/> 確認済み

リツキサン療法

多発血管炎性肉芽腫症 顕微鏡的多発血管炎 全身性強皮症

投与開始日 年 月 日 1週間間隔で4回投与

● リツキサン 375mg/m² Day1 計算量: mg 投与量: mg
(Rituximab : 一般名リツキシマブ、商品名リツキサン)

【投与スケジュール】

Day1	リツキサン投与開始30分前 抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等を投与		
	1) 生食 50mL	1V	ルートキープ・ルートフラッシュ
	2) リツキサン(10mg/mL) ()mg		リツキサン最終濃度は、1mg/mLに希釈調整する
	生食 ()mL		

★ リツキサン投与時に頻発して現れるinfusion reaction(発熱、悪寒、頭痛等)を軽減させるために本剤投与の30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の前投与を行うこと。
また、ステロイドと併用しない場合は、ステロイドの前投与を考慮すること。

★ リツキサン初回投与時は、最初の30分は50mg/時(50mL/h)の速度で点滴静注を開始し、患者の状態を十分観察しながら、その後注入速度を30分毎に50mg/時(50mL/h)ずつ上げて、最大400mg/時(400mL/h)まで速度を上げることができる。
また2回目以降の注入開始速度は、初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/時(100mL/h)まで上げて開始し、その後30分毎に100mg/時(100mL/h)ずつ上げて、最大400mg/時(400mL/h)まで上げることができる。
なお、患者の状態により、注入開始速度は適宜減速すること。

特記事項